

福島原発事故避難者への住宅補償打ち切りに抗議して 日本・カナダ・フランス 3つの連帯デモ

今年、8月8日～14日にカナダ・モントリオールで開かれた世界社会フォーラムに原発事故避難者を含む3名が脱被ばく実現ネットから参加しました。

このフォーラムで連帯を深め、福島原発事故避難者への住宅補償打ち切り反対と汚染地域からの避難を要求するデモが10月22日の第7回新宿デモ「被ばくはイヤよ！ 住宅支援打ち切りやめて！」に呼応して10月13日カナダ・オタワで、10月22日フランス・パリで行われました。

この問題が世界の人々にとっても重要な問題であることをアピールしてくれました。



左：枚撮影 目黒誠二 郎氏

10月22日→
新宿デモ
沿道の多くの人が注目



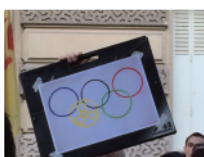
カナダモントリオール・Frapru
の主催によるオタワの日本大使館
への抗議行動 (10月13日) ↓



カナダ



フランス



←五輪の1つが
原子力マーク
になっている

←10月22日
フランス・パリの市民団体 DAL の主催で
パリの日本大使館前で住宅を奪うなどデモ。

食品放射能基準値100Bq/kgって本当に安全ですか？

	事故前 (H20年度) の 単位	食品放射能濃度*	厚生労働省 H24年度基準値**	
上水	Bq/L	0.00004	10	25万倍
米	Bq/kg	0.012	100	8,300倍
根菜	Bq/kg	0.008	100	12,500倍
葉菜	Bq/kg	0.016	100	6,300倍
牛乳	Bq/L	0.012	50	4,200倍
魚類	Bq/kg	0.091	100	1,100倍
製茶 (乾燥)	Bq/kg	0.240	100	420倍

* セシウム137の値。半減期は約30年。
福島原発事故前は基準値がなかったため全国の平成20年度食品の平均値を示した。
** セシウム137の値。
出典：日本分析センター平成20年度事業報告書より。
<http://www.jcac.or.jp/uploaded/attachment/57.pdf>

左図は事故前の食品放射能濃度と、政府が平成24年度に決めた食品の放射能基準値を比べたものです。私たちが事故前に食べていた物に比べて驚く程高い放射能を容認するもので、命より経済優先の基準です。体に入った放射性物質は排泄されるまで放射線を出し細胞を傷つけます。(例：1本のβ線が1cm進む間に2万5千個の分子を切断) 本当は呼吸や食品からの内部被ばくには特に気をつけなければならないのです。

また、環境省は高濃度放射性廃棄物を他のゴミと混ぜて8000Bq/kg以下に濃度を下げ、全国の公共事業で再利用するという恐ろしい計画*を進めています。福島原発事故による放射能汚染の中、経済最優先で命と健康は二の次・三の次の政策だらけの日本です。

*この計画への反対署名はこちら↓
<http://www.foejapan.org/energy/fukushima/160416.html>

福島原発事故避難者への 住宅補償の継続を求める！

3.11 福島原発事故から5年半。福島第一原発では終わりのなき極限の収束作業が続き汚染水はあふれ、小児甲状腺がん患者が174名にもなるなど、被ばくによる健康被害が拡大しています。

政府、東電はそれを隠して「原発事故は起きたが被害はたいしたことない」とするために、まず来春をめどに帰還困難区域を除く全ての避難指示を解除し、避難者への賠償と住宅補償を打ち切ろうとしています。避難者は帰還して被ばくするか、避難先で路上に放り出されるかという待たなしの状況に置かれています。住宅は生きる最低限の権利であり、事故の被害者を路上に放り出すような国と福島県の姿勢を私たちは絶対に容認することはできません。また、住宅補償の打ち切りは放射能被害を心配して避難したいと思いながら避難できないでいる人々への道を閉ざすことでもあります。原発事故被害者、避難者の命と生活を守る活動にあなたも参加して下さい！

避難者の声は→ <http://hinan-kyodo.org> <http://hinannokenri.com/news> <http://hinamamo.jimdo.com>

国は私たちが難民にさせるつもりなのでしょうか？

郡山市から川崎市へ母子避難している Mさんは訴える！

私は、福島第一原発事故による放射能被ばくの健康被害を心配し、当時12歳の娘を連れて自主避難をしました。

何故、私たちは自ら避難をしなければいけなかったのでしょうか？ それは初めから判っていた情報が国が隠蔽し、少なくとも良い被ばくを強いられたからです。私の土地は汚染されました。その為、娘の鼻血問題、腹痛、下痢、目まぐるしく変化したため避難をしたのです。危険を感じたら逃げるのは当たり前です。

私の自宅の敷地内には除染した汚染物がそのまま置き去りです。そのまま、除染物と一緒に30年、そこに住めというのでしょうか？ 誰か教えてください。まだ緊急事態宣言は発令されたまま解除はされていないはず。

それぞれに避難をした親、子供たちは、今やっと落ち着き始め、その場所で生活を送っているのです。それなのに私たち避難者の唯一の命綱である、住宅支援を打ち切ろうとしています。

国は私たちが難民にさせるつもりなのでしょうか？

増加する様々な病気

一福島県立医科大学附属病院の記録一

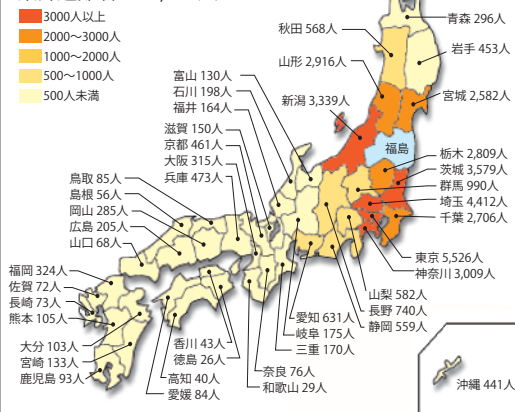
	2010年	2011年	2012年
白内障	150 (100%)	344 (229%)	340 (227%)
狭心症	222 (100%)	323 (145%)	349 (157%)
脳出血	13 (100%)	33 (253%)	39 (300%)
肺がん	293 (100%)	504 (172%)	478 (163%)
食道がん	114 (100%)	153 (134%)	139 (122%)
胃がん	146 (100%)	182 (125%)	188 (129%)
小腸がん	13 (100%)	36 (277%)	52 (400%)
大腸がん	31 (100%)	60 (194%)	92 (297%)
前立腺がん	77 (100%)	156 (203%)	231 (300%)
早産・低体重出産	44 (100%)	49 (114%)	73 (166%)

落合栄一郎氏(福島第一原子力発電所事故による健康被害)より
資料参照 http://www.senmon-i.com/detail/0701907_9.html

福島県民の避難先

2016年6月20日現在
福島県内避難者 49,333人

2016年5月16日現在
県外避難者 41,532人



福島県把握分 作成：脱被ばく実現ネット

20161106.30